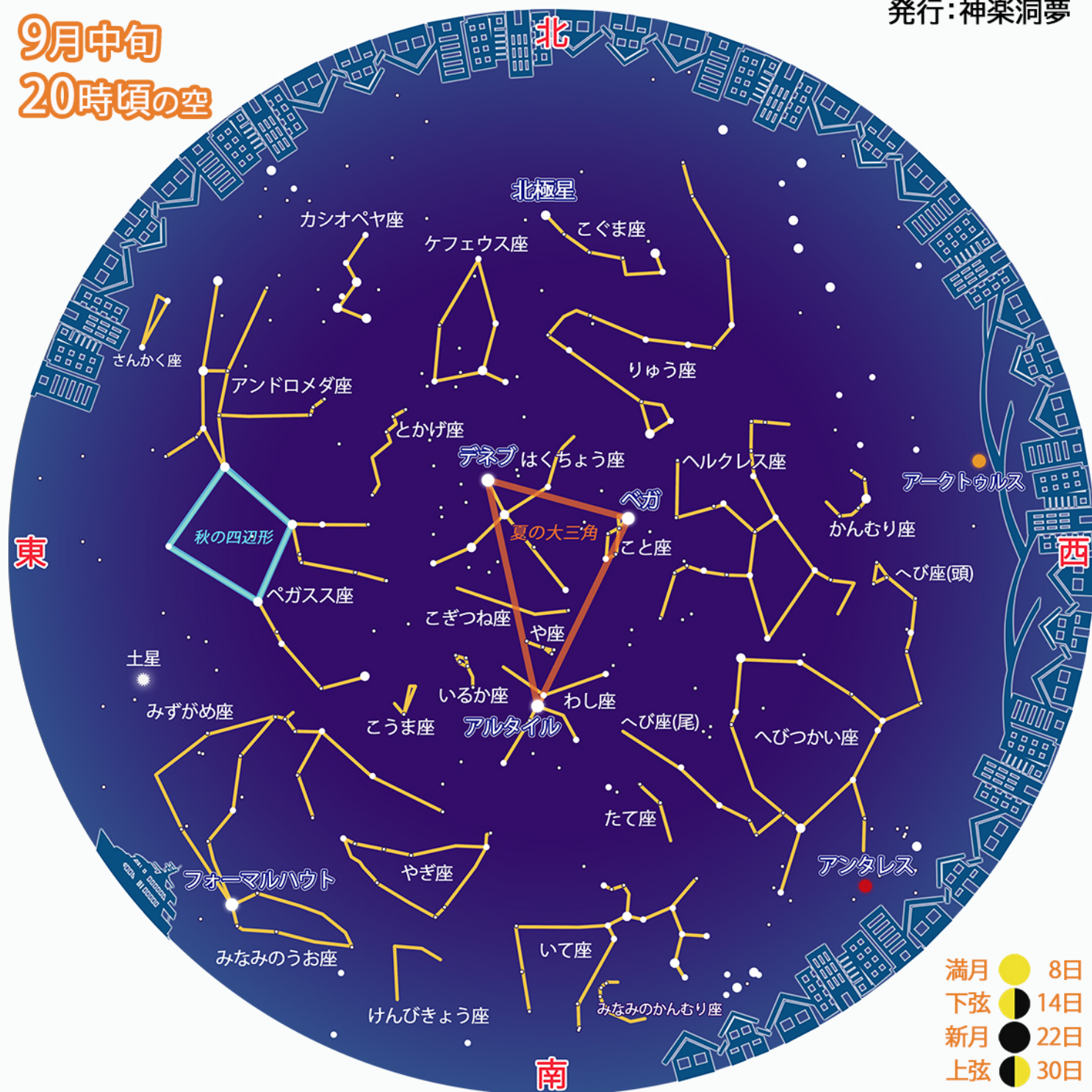


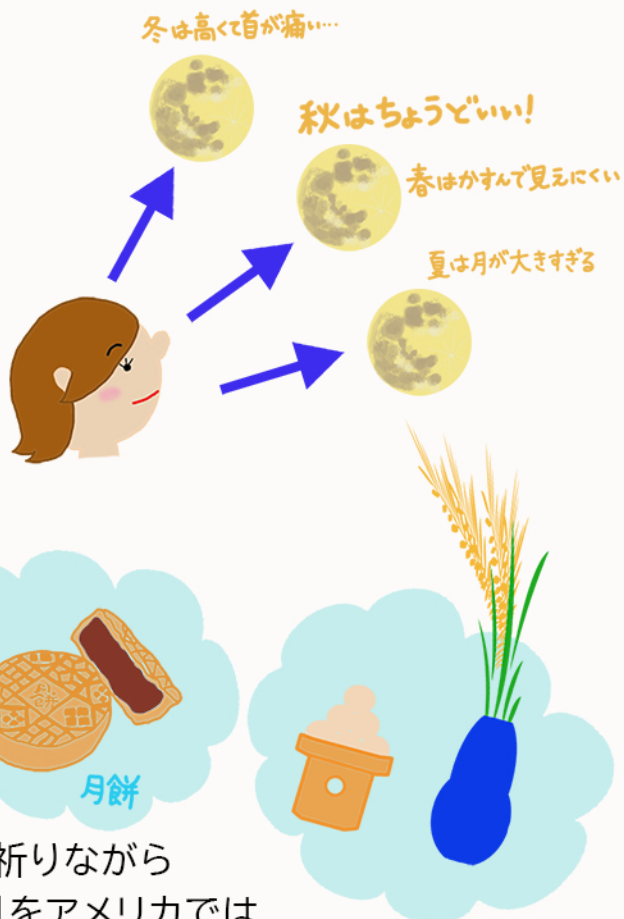
9月中旬
20時頃の空



9月になり秋の季節がやってきました。東の空から「秋の四辺形」を描くペガサス座が昇ってきて、秋の訪れを教えてくれています。しかし、まだまだ残暑があり、夜空でも20時頃だと、「夏の大三角」が南の空高い所に目立ち、主役の座にあると言ってもいいかもしれません。「夏の大三角」は12月くらいまで早い時間帯であれば見ることができ、秋になってもまだまだ見頃の星並びです。

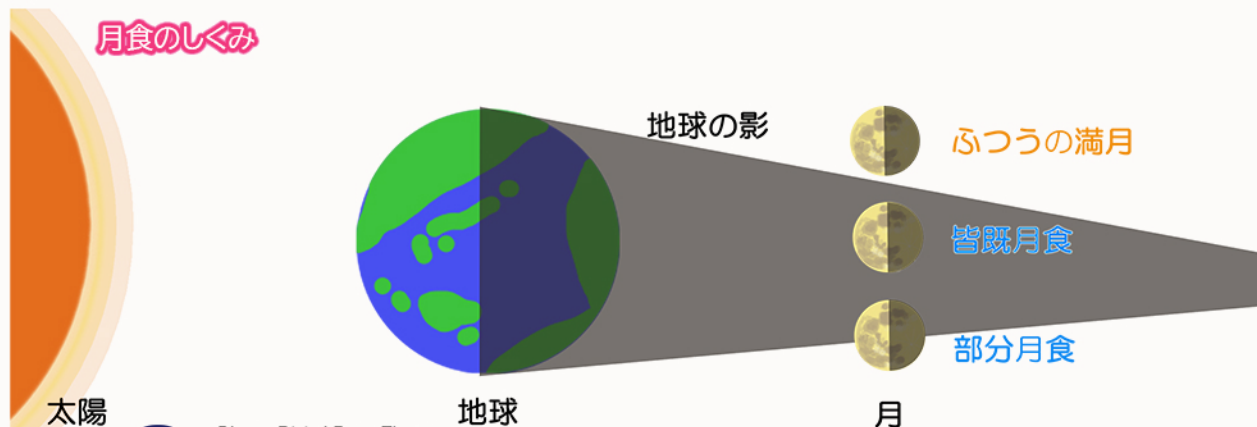
月を見よう！

月は夜に見える天体の中でも最も目につきやすい星の一つです。季節によって月の見える高さが違い、秋になると月の見える高さが低くも高くもなく、ちょうどいい高さに見えることから、この時季は月を愛でるのに最高の季節です。暦を旧暦で数えたとき、秋は初秋・仲秋・晩秋と分かれており、今では7・8・9月がその季節にあたります。その仲秋の時期に見える満月(旧暦の8月15日の月)を「中秋の名月」といい、今年は少し遅い10月6日が中秋の名月です。この日に、日本では稲の収穫や豊作の感謝を込めて稲に見立てたススキを飾ったり、月見団子をお供えしたりします。日本だけでなく中国では、この日は祝日として扱われているほど大切な日で、家族で集まり、「月餅」というお菓子を満月に見立て、家族の幸福を祈りながら食べる風習があります。また毎年9月にみられる満月をアメリカでは「ハーベストムーン」といい、この時期アメリカでは収穫の季節を迎え、満月の月明りを使って夜まで収穫ができるとされていたので、この名前がつけられています。そんなハーベストムーンを日本でも見たいところですが、今年の9月の満月(9月8日)は普通の満月とは違って「皆既月食」が起こります。



月食ってなに？

太陽に照らされてできた地球の影に月が隠れてしまうことを「月食」といいます。その中でも、地球の影に月が全部隠されてしまうことを「皆既月食」、一部だけ地球の影と月が重なりあうことを「部分月食」といいます。今回の月食はいつもなら寝静まっている時間帯、9月8日の午前1時26分頃から始まり、皆既月食が見られるのは午前2時30分～午前3時53分の間です。夜空の天体ショーを頑張って見てみるのもいいかもしれません。



Okasan Digital Dome Theater
神楽洞夢
KAGURA DOME

〒514-0032 三重県津市中央5-20 岡三証券グループ津ビル4階
<http://kagura-dome.jp> TEL. 059-221-3121 FAX. 059-226-1565